

# 従業員25% 遠隔勤務に

## みずほ 支店の余剰スペース活用

みずほフィナンシャルにした。

グループは事務の効率化　みずほ銀行は口座開設で生じる支店の空きスペースや振り込みといった来店客の取引内容を勘定システムを使い、従業員が自宅近くで働けるサテライトオフィスを整える。まず2020年度中に首都圏9店舗を始め、将来は全国数十カ所に広げる。在宅勤務を含め、みずほ銀行とみずほ信託銀行、みずほ証券の本社に勤める約1万2千人の従業員25%を遠隔勤務を前提とした働き方に改める。

28日までに日本経済新聞のインタビュールにに応じた坂井辰史社長が明らかにした。

坂井氏は「新型コロナウイルスの流行で満員電車に揺られながら通勤する危なさも浮き彫りになった」と話す。